

2007 (平成19年)

5月

鉄鋼関連事業

珪素を吸着・浄化する鉄粉を開発・商品化

珪素を高い効率で吸着・浄化する鉄粉を開発・商品化いたしました。工場・温泉排水、地下水等の浄化を目的としたもので、本鉄粉を入れた容器に珪素汚水を流すだけで、珪素含有濃度を環境基準値(飲料水基準値)まで浄化することが可能になりました。

石炭エネルギープロジェクト

「改質褐炭(低品質石炭の高品質化)」に関する大型実証設備の建設着工

インドネシアにおける「改質褐炭(低品質石炭の高品質化)」プロジェクトの大型案件に着手いたしました。同プロジェクトは、インドネシアに豊富に存在しながら水分が多いため利用が進んでいない低品質炭(褐炭など)を改質・高品質化し、主に電力用途で使用するのが狙いです。同プロジェクトは、2010年度からの商業化を目指しています。



改質褐炭プロジェクト 実証設備着工式

6月

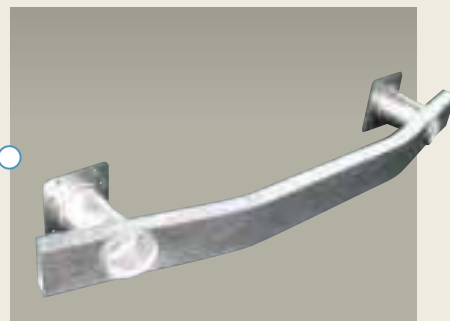
◎次世代製鉄法「ITmk3(アイティ・マークスリー)」プロセスのマーケティング活動について クリーブランド・クリフス社とアライアンス契約を締結

7月

アルミ・銅関連事業

世界初、電磁成形でバンパーとステイを一体化

世界で初めてアルミバンパーとステイを電磁成形によって「かしめ」で接合し、一体部品とした「貫通型アルミバンパーシステム」を開発いたしました。従来はバンパービームにステイを溶接していましたが、新型バンパーではステイのパイプ部をバンパービームに貫通させ、パイプ端部を電磁成形でパイプの縁を広げることによって接合する方法(かしめ)により、溶接加工を不要とし、軽量化と低コスト化が可能になりました。



貫通型アルミバンパーシステム成型品

9月

◎溶接カンパニー欧州拠点の生産を拡大

11月

◎次世代製鉄法「ITmk3(アイティ・マークスリー)」プロセスの商業機第一号プロジェクトを開始

◎中国におけるマグネシウム地金製造会社への資本参加

○ 鉄鋼関連事業

● 電力卸供給事業

○ アルミ・銅関連事業

○ 機械関連事業

● 建設機械関連事業

● 不動産関連事業

● 電子材料・その他の事業

11月 ● 米国プロテック・コーティング社が
マルコム・ボールドリッジ賞(米国国家経営品質賞)受賞

● 中国・浙江省に特殊鋼線材の二次加工拠点設立

12月 ● チタン新溶解工場竣工

鉄鋼関連事業

神戸製鉄所第3高炉の再稼働

短期改修工事の終了した神戸製鉄所第3高炉は、12月16日に火入れ式を行ない、再稼働いたしました。新第3高炉は、国内唯一のオールペレット操業に適した炉体形状とするため、炉口径・炉腹径を広げ、炉内容積を2,112m³に拡大しました。これにより、粗鋼生産能力が向上し、炉体形状の最適化による通気性改善効果により燃料原単位の低減が可能になりました。



神戸製鉄所第3高炉 火入れ式

2008 (平成20年)

1月

関連会社

高性能アルミ製吸音パネル
「アルミ箔エコキューオン」を初受注

当社グループの子会社である神鋼建材工業株式会社と当社が共同開発し、2007年に発売を開始した、高性能アルミ製吸音パネル「アルミ箔エコキューオン」の受注が相次いで決定しています。本製品は、製造業向け、エネルギー産業向け、その他にも公共交通機関向けで、いずれも防音壁として採用されており、本製品を設置する前と後で騒音レベル実測値を比較すると、騒音エネルギーを77%~96%低減する効果を得ています。



高性能アルミ製吸音パネル
「アルミ箔エコキューオン」を使用した防音壁

● 高機能抗菌めっき技術「KENIFINE(ケニファイン)」
の水産養殖設備への採用拡大

機械関連事業

冷熱・温熱同時取出しが可能な「ハイエフミニ・高効率
高温取出機(HRシリーズ)」を開発・販売

ビルや工場等の冷房用熱源機である高効率小型水冷インバータスクリッチャー「ハイエフミニ(冷房能力528kW)」の用途拡大機種として、業界で初めて70℃までの温熱取出し機能と高温で高効率な循環加温機能を追加した新製品「ハイエフミニ・高効率高温取出機(HRシリーズ)」を開発いたしました。本製品は、本年4月より販売を開始しています。



ハイエフミニ・高効率高温取出機